

公園愛護会通信は、公園愛護会活動がより活発に行われるように、活動に関する情報提供や、活動の事例紹介等を行うための情報誌です。

じゅめいばん
樹名板
が付いているとすぐに名前が分かります



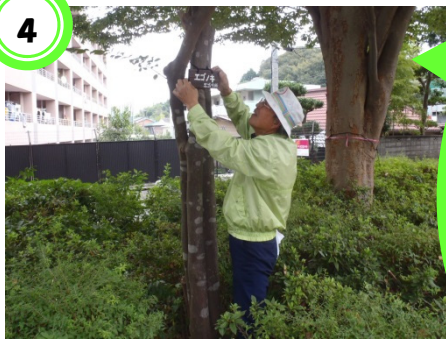
5

皆さんは、公園で見かける樹木の名前が気になったことはありませんか？ そんなとき、樹木の名前を示す「樹名板」が付いていれば、きれいな花や美しい紅葉で彩られる木が、何の樹木なのかが誰にでも分かり、樹木をより身近な存在に感じることができるでしょう。

横浜市では、愛護会の皆さん向けに、焼いた杉板でつくる「樹名板づくり」の技術支援を行っています。今号では、その一部を紹介します。

完成！（栄区本郷台三丁目公園）

4



樹名板を木に取り付けます。
(戸塚区吉田町第二公園)

この木は何の木？

樹名板を作ってみよう

3



ペンキで板に木の名前と、科の名前を書き、乾かします。(都筑区荏田南みのり公園)

2



焼いた板をわら縄でこすり、ススを落として、ぼろ布で磨きます。(泉区日向山公園)

1



防腐効果を高めるため、杉板の表面を焦がします。(中区山手公園)



樹名板をつくと

樹木の名前を知ることができ、活動の参加者や公園利用者の公園への愛着が高まります。また、子供たちと一緒に実施することで、子供たちに公園を大事にする気持ちが生まれるきっかけづくりができます。



実際につくってみると



樹名板づくりを、公園でのイベントの一環として活用する愛護会もあります。今回は、地域の小学生と一緒に樹名板づくりを行った、栄区の本郷台三丁目公園愛護会の浅沼会長にお話を伺いました。



どんなきっかけで行ったのですか？

本郷台三丁目公園は、小学校の近くにあることからいつも大勢の小学生が遊んでいます。そこで、子供たちに公園を大切にしてもらおうと、放課後キッズクラブに声をかけて、公園の樹木に付ける樹名板を一緒に作るようになりました。



どのような形で行ったのですか？

取り付ける樹木の少ない公園なので、取り付けるだけではすぐ終わってしまうということで、土木事務所の担当者と相談の上、ゲーム形式にすることにしました。「樹名板グランプリ」と名付けて、樹名板の説明文と樹木の写真をヒントに樹木を探し出して樹名板を付けてくるゲームで、正確さとスピードを競ってもらいました。

そのほかにも輪投げゲームも用意し、区のキャラクターのタッチーくんと一緒に、セーフコミュニティの勉強をする時間も持ちました。



実施してみた感想はいかがですか？

当日は、子供たちが楽しそうにゲームをする姿を見ることができました。さらに後日、近隣の利用者から樹名板を付ける木をもっと増やしてほしいという声もいただき、大変嬉しく感じました。



←子供たちが樹名板に木の名前を書く様子。

樹名板づくりを通じて、地域の世代間交流が深まりました。 →



こんな板を見かけたら



樹木は、実は少しずつ成長し、太くなっていきます。取付けから数年経ち、ひもがきつくなると、樹木はその部分だけ成長できないため、弱くなり幹が折れやすくなってしまいます。また、屋外に設置しているため、板が壊れてしまったり、傷んでしまったりもします。1年に1度は樹名板の様子を確認しましょう。



板が持ち上がっている



ひもが樹木の皮に食い込んでいる



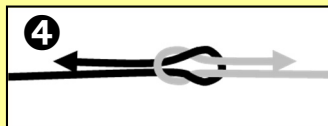
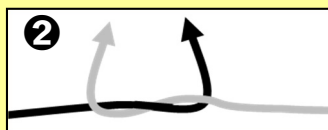
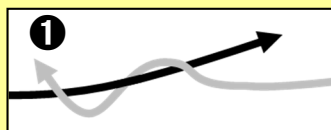
ひも用の穴が割れて取れかけ



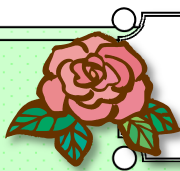
板が割れて名前が読めない

樹名板は、「本結び」で取り付けます。一度結びと解けにくく、決まった方向にひもを強く引くと、結び目が反転して解けやすくなります。

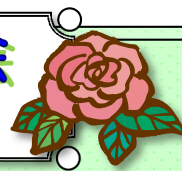
ひもがきつくなっているのを見かけたら、一度ほどいて結び直してあげてください。



交換用の板やひもをお渡します。各土木・公園緑地事務所にお問合せください。



港北区 新羽丘陵公園愛護会 国土交通大臣表彰受賞!



第26回「みどりの愛護」のつどいが、5月30日に宮崎県総合文化公園において、皇太子殿下ご臨席のもと開催され、参加者による記念植樹なども行われました。横浜市からは、港北区の新羽丘陵公園愛護会ほか2団体が国土交通大臣表彰を受賞しました。この賞は、花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間の団体に対し、その功績をたたえるものです。

今回表彰された新羽丘陵公園愛護会は、平成7年から近隣3つの町内会と地元小中学校のPTAが中心となり活動を始めました。新羽丘陵公園は広大な面積で、日常の清掃以外にも毎月一回、約60人で、竹林の手入れ、草刈り、花植えなどの活動を行っています。斜面地には芝桜を植え、地域の小学生も一緒になって育て、開花期には地域の見どころとして紹介されています。

また、地域の緑化に取り組む「花の里づくりの会」と町内会の協力のもと、子供たちと一緒に記念植樹を続けています。竹林では、年間約300本の竹の間伐を行い、小学校の環境学習と連携して、たけのこ堀りや竹炭づくりなどにも取り組んでいます。このような地域と連携した活動の功績がたたえられ、表彰されました。

同愛護会の米山会長は、「大感激です。この表彰を励みに、またみんなで一丸になって愛護会活動をやっていきたいと思います。」と話されました。



↑芝桜の手入れを行う様子。多くの地域住民が、活動に参加しています。



会長と贈呈された感謝状。地域に持ち帰り、喜びを分かち合いました。→

港北土木事務所 TEL:045-531-7363 FAX:045-531-9699

支援班です

愛護会活動をサポート



栄区本郷台中央公園での草刈機の使い方講習の様子。実習中心の講習です。

維持管理支援班は、公園愛護会活動を技術面からサポートする「公園管理の専門職員」です。4人のメンバーが、公園管理の実務に携わってきた経験を生かし、花壇づくりや堆肥置場づくり、中低木の刈り込み、草刈機の使い方、樹名板づくりなど、各区の愛護会の皆さんと一緒に作業をしながら、わかりやすく活動に生かせる技術をお伝えしています。

「技術支援を通じて、愛護会の皆さんの活動がより充実するように、お手伝いをしていきたいと思っています。」

※技術支援に関しては、各土木・公園緑地事務所にお問合わせください。

公園探訪

ファイル:013 「麒麟の遊具か砲台か？」

閑静な住宅に囲まれた泉区の領家四丁目公園。樹木の間からのぞいているのは、麒麟の遊具か砲台の遺跡か？

不思議に思って近寄ってみると...

なんと、日時計。

文字盤には、「おはよう おひるです かえりましょう」の3つが刻まれている。

遊びに夢中になっている子供たち！

帰る時間が迫ってきたよ～。



緑の中にそびえ立つ細長い「何か」



足元には文字盤(あいごぼんと一緒に撮影)



実は大きな日時計だった

このコーナーでは、公園に関わる職員のネットワークを駆使し、横浜市内の公園で見られる「ちょっと変わった〇〇」を探して紹介していきます。皆さんも探しに行ってみては？

暑さに注意 熱中症対策



公園愛護会キャラクター
あいこぼん

熱中症は、梅雨明け後、体がまだ暑さに慣れていない時期や、暑さの厳しい時期に急増します。愛護会活動を、楽しく安全に続けていただくためにも、予防のポイントを活動前に確認しましょう。

こまめに水分補給を行い、涼しい時間の活動、涼しい場所での休憩、通気性の良い服の着用、暑い日や体調の悪い時は作業をしないなどを心がけていただくようお願いいたします。また、怪我防止のために活動前には軽くストレッチを行いましょう。

★熱中症は横浜市市民活動保険の対象外です。横浜市市民活動保険は、ボランティアの怪我や事故を対象とした制度です。事前の加入手続きは不要で、事故等発生時に手続きしていただきます。

昨夏、デング熱の国内感染患者が発生し、患者が蚊に刺されたと疑われた公園では、立ち入り制限など特別措置を講じました。

平成27年6月9日現在同様の事例は発生しておりませんが、公園での活動の際には、蚊に刺されないように、以下の点に気を付けましょう。

- ・長袖、長ズボン、帽子などを着用し、肌の露出を減らしましょう
- ・素足やサンダル履きはできるだけ避けましょう
- ・必要に応じ虫よけスプレーを使いましょう

蚊に刺されない
ようにしよう



コーディネーター便り

公園愛護会等コーディネーターは、公園愛護会の活動をお手伝いする、各区土木事務所の専門職員です。活動で分からないことや困ったことなど、お気軽にご相談ください。今回は、神奈川区・青葉区の新任コーディネーターを紹介します。

神奈川区

野田コーディネーター

海と緑と丘のまち神奈川区には、愛護会をはじめ地域の皆さんのお手入れの賜物である「居心地が良くホッと気持ちの和む公園」がたくさんあります。

皆さんと一緒に将来を見据え、未来の愛護会活動の後継者になりうる子供たちへ、皆さんの思いをのせたバトンを渡すお手伝いにも尽力したいと思っています。まだまだ勉強中の新人ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

青葉区

永井コーディネーター

自然が多く残る青葉区は公園数もナンバーワンで、多くの愛護会があります。

愛情と誇りをもって活動をしてくださっているお姿や、皆さんのありがとと笑顔に出会えるこの仕事に縁があったことを幸運に思います。

お花や緑が大好きです。微力ながらお役に立てるよう努めますので、皆さんどうぞよろしくお願ひします。

落書きをなくして きれいな公園にしよう！

落書きがあると、周囲の犯罪が多発していくと言われていいます。横浜から落書きをなくし、安全で安心なまちココハマにしていきたいと思います。



落書き防止に有効なこと

パトロールをして、きれいに管理することが有効です。今後も変わらず公園をきれいに管理できるようご協力をお願いします。

落書きされてしまったら

落書きが描かれた素材によって適した方法があります。各土木・公園緑地事務所にご相談ください。

市民局地域防犯支援課
TEL:045-671-3705 FAX:045-664-0734

公園における放射線対応について

市民の皆様がご利用になる全ての公園における放射線量(ガンマ線)の測定結果は、市ホームページで公表しています。また、公園内の堆肥置き場の堆肥については、引き続き、公園内の花壇や植込み等で使用することとし、公園外では使用しないようにお願いします。今後も、国・県の動向や状況の推移を注視しながら、皆様へ情報をお伝えしてまいります。

お問合せ先:横浜市環境創造局 公園緑地維持課 活動推進担当
TEL:045-671-2650 FAX:045-633-9171

横浜市 公園 放射線量

検索

発行/横浜市環境創造局公園緑地維持課 〒231-0017 横浜市中区港町1-1

電話:045-671-2650 FAX:045-633-9171 Eメールアドレス:ks-aigokai@city.yokohama.jp 発行日(平成27年7月1日)

バックナンバーは、横浜市公園愛護会ホームページから。

横浜市 公園愛護会

検索